

バイオスタウン構想分析DB

[【リンク】富山市バイオスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
19	2007.4.26			富山県	富山市	421,239	1,241.85
構想の要約		現在エコタウンを中心に実施している生ごみのバイオマス発電、廃食用油のバイオディーゼル燃料化、建設発生廃木材及び造園剪定の製品化・堆肥化などをバイオスタウンとして、市民、事業者、行政の連携と協働により拡大する。さらに、製材工場廃木材及び間伐材などのバイオマス発電や燃料化に新たに取り組み、多種多様で豊富なバイオマスの利活用を推進する。					
構想に盛り込まれた事業		①生ごみ(一般廃棄物)によるバイオマス発電 ②廃食用油、なたねによるバイオディーゼル燃料の製造 ③し尿汚泥及び紙ごみの再生利用 ④製材工場廃木材、稲わら・もみ殻及び林地残材・未利用間伐材によるバイオマス発電やペレット、バイオ燃料の製造					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	○
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他()			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙	○				
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(セメント原料)	○	炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.07.27	農村振興局助成措置:平成15-16年度、富山市(旧八尾市)家畜排せつ物、食品廃棄物、木質バイオマス、もみ殻炭化施設、堆肥化施設の整備

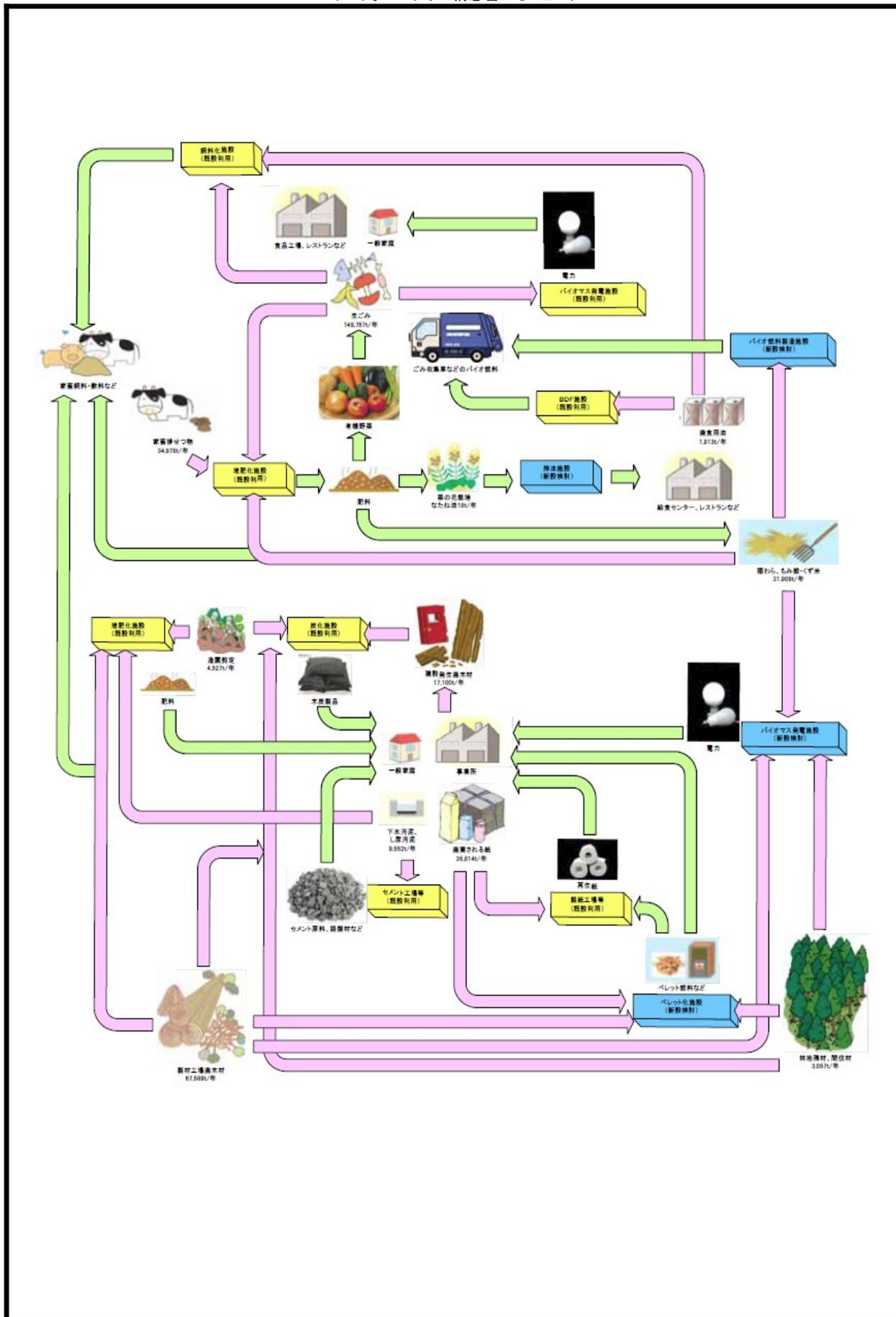
実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス		現 在			今 後		
		賦存量 (t/年)	利用・販売	利用率	仕向量 (t/年)	変換・処理方法	利用率
(廃棄物系バイオマス)		352,107		66%	321,230		91%
家畜排せつ物	乳用牛	16,939	堆肥として農地還元・販売	98%	16,600	堆肥化	98%
	肉用牛	6,457	堆肥として農地還元・販売	92%	5,940	堆肥化	92%
	豚	16,576	堆肥として農地還元・販売	45%	9,116	堆肥化	55%
	採卵鶏	3,497	堆肥として農地還元・販売	95%	3,322	堆肥化	95%
食品廃棄物	生ごみ(産廃)	111,979	堆肥や飼料等として販売	90%	106,380	肥料化、飼料化、メタン発酵、油脂製品化	95%
	生ごみ(事業系一廃)	19,200	電力自家利用	14%	17,280	発電	90%
	生ごみ(家庭系一廃)	28,997		0%	26,097	発電	90%
	廃食用油(事業系)	1,913	飼料等の原料として販売	95%	1,913	BDF化、飼料化	100%
木質バイオマス	建設発生廃木材	19,000	建設資材や堆肥として販売	80%	17,100	炭化、堆肥化	90%
	製材工場廃木材	75,099	堆肥等として販売	65%	67,589	パーク堆肥、チップ、きのご培地、燃料、発電	90%
	造園剪定	5,030	堆肥等として販売	84%	4,527	炭化、堆肥化	90%
下水汚泥等	下水汚泥	9,556	堆肥やセメント原料として販売	98%	9,364	コンポスト化、セメント原料化	98%
	し尿汚泥	376	農地還元	42%	188	農地還元、発電	50%
廃棄される紙	燃やせるごみ中の紙ごみ	16,737		0%	15,063	再生紙原料化	90%
	紙の容器包装	845	製紙原料として販売	100%	845	再生紙原料化	100%
	古紙	19,906	製紙原料として販売	100%	19,906	再生紙原料化	100%
(未利用バイオマス)		84,322		29%	34,966		41%
農業系	稲わら	64,464	堆肥等として販売	30%	25,785	堆肥化、発電	40%
	もみ殻・くず米	15,310	堆肥等として販売	30%	6,124	もみ殻：堆肥化、発電 くず米：食品原料、バイオ燃料化	40%
林業系	林地残材	572		0%	57	発電	10%
	間伐材	3,976	木製品として販売	5%	3,000	発電、ペレット化	75%
(資源作物)		23		—	18		78%
なたね		23		—	18	BDF化	78%

バイオスタウン構想概要図

(バイオスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	バイオディーゼル燃料化事業
事業者名	富山BDF(株)
事業所名	富山BDF(株)
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	廃食用油
利用する変換技術	バイオディーゼル燃料化

事業の概要	<p>添付別紙(パンフレット等)参照</p> <p>(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)</p> <p>添付農林水産省作成資料「バイオマス利活用の取組事例」参照。</p>
-------	---

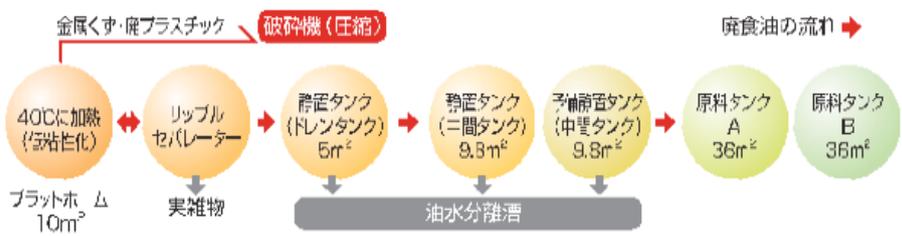
実現した事業(その2)

事業の名称	メタン発酵事業、たい肥化事業
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	<p>(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)</p> <p>添付パンフレット「富山市エコタウン」、「富山食品廃棄物リサイクル施設」参照。</p>

オ 富山県富山市

都道府県名	富山県	市町村名	富山市
市町村人口	41万7308人	市町村面積	1,241.85 km ²
主要施設の名称	富山BDF(株)	実施主体名	富山BDF(株)
原材料 (利用量 賦存量)	廃食用油 事業系廃食用油：利用量3,800ℓ/日、賦存量1,913t/年		
変換技術 (生産量)	バイオディーゼル燃料 製造量3,800ℓ/日		
取組の目的 /背景	<ul style="list-style-type: none"> ・化石燃料使用抑制に伴う地球温暖化の防止 ・排ガスのクリーン化による環境にやさしい街づくり ・市民参加による資源循環型街づくりの促進 ・廃食用油のゼロエミッション施設の構築 ・情報発信による富山地域のイメージアップと活性化 ・富山市エコタウン事業・地域コミュニティと連携 		
取り組むきっかけとなった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・植物系廃食用油を環境にやさしい軽油に ・廃食用油の回収・リサイクル社会構築 		
実績 (計画段階 のものは計 画値を記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理業者が中心となり、廃油回収業者とプラントメーカーが共同出資により会社を設立 ・北陸地域で小中学校や給食センター、食料品製造業の工場、飲食店、旅館・ホテル等からの廃食用油を回収・前処理し、バイオディーゼル燃料の製造・販売を実施 ・生産されるバイオディーゼル燃料はB100で富山市の清掃車両、ミュージアムバス、パッカー車、エコタウン内の重機等(120台)で使用 ・製造方法：アルカリ触媒法(湿式) ・車両用スタンドとローリー車用の一般給油所を併設 ・総事業費4億500百万円(環境省：二酸化炭素排出抑制対策事業、富山市：富山市エコタウン施設整備事業を活用) 		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>1 レストランなどの他、家庭から廃油を富山地域の地区センターで専用のポリタンクに入れて回収します。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2 富山市エコタウン産業団地内にある富山BDF(株)に運搬されます。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>製造されたBDFは製品タンクに集められます。燃料は富山市のゴミ収集車やバス及び一部の民間企業などが利用しています。</p> </div> </div>		

	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>3 家庭や事業所から回収された廃食用油。</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>4 回収された廃食用油が全網の下のタンクにためられます。</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>5 廃食用油に混ざった不純物を取り除きます。</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>6 比重の違いを利用して、動物性の廃食用油を取り除きます。取り除いたものは、肥料などに加工されます。</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>7 分けられた植物性の廃食用油を数日間静置分離保管した後、外の原料タンクに移します。</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>8 メタノールやナトリウムメタクリレートなどの薬品を使って化学反応させ、BDFを製造していきます。</p> </div> </div>
事業を進める上での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者による採算性のある事業として、また、地域ぐるみで取組む事業として、全国的なモデルとなるような事業を目指す。 ・富山市で実施している家庭系廃食用油の回収事業が軌道に乗った場合でも十分対応できる施設規模。
維持管理体制 (維持管理費の実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・廃食用油の回収従事者数：4人、回収コスト：35円/ℓ ・バイオディーゼル燃料製造従事者数：4人、製造コスト：92円/ℓ ・ニート（B100）販売価格：120円/ℓ＋消費税
直面した課題を解決した工夫	<p>・徹底した前処理(昇温・静置・フィルターで不純物分離等、2.5日掛けて精製)により原料品質を確保</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">前処理棟 作業工程</div>  <p>・フィルターによるろ過（10μm + 1μmの2段方式）により、微量不純物を除去</p> <p>・冬季期間は、流動点降下剤を添加して、-10℃まで使用可能</p> <p>・廃棄物（廃グリセリン、エマルジョン水、ブロー水）は、エコタウン内で隣接するメタン発酵施設で処理することで、処分費用を軽減</p> <p>・廃食用油を加熱して精製する工程で発生する臭気は、全て捕集し、消臭剤（フイトンチッド）で分解消臭により万全の臭気対策を実施</p>

取組により 得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・廃食用油の回収・リサイクル ・排気ガスのクリーン化 ・代替エネルギーの生産 ・ごみの減量 ・下水・河川等の環境汚染防止 	
課題／展望	<ul style="list-style-type: none"> ・県内各所に、小規模なバイオディーゼル燃料製造施設が完成し、原料の廃食用油の競合の様相を呈し、仕入価格が次第に高騰し調達に苦慮 ・冬期は飽和脂肪酸が結晶しやすく、燃料系統の詰りが予想され、高額な流動点降下剤の使用による原価上昇 ・原料にパーム油等、凝固点が高い油が多く混入する場合があります、その対処方法を模索 ・廃棄物（廃グリセリン、エマルジョン水、ブロー水）について、固形燃料へのリサイクルを模索 	
その他		
連絡先	電話番号：076-426-1313	FAX 番号：076-426-1333
	所属部署：富山BDF㈱	e-mail：bdf1@toyama-bdf.com

富山市エコタウン全景



富山グリーンフードリサイクル株式会社

株式会社プリテック

日本オートリサイクル株式会社

エコタウン交流推進センター

アイオーティカーボン株式会社

富山 BDF 株式会社

廃合成ゴムリサイクル施設

株式会社エコ・マインド

ご案内図



TOYAMA CITY ECO TOWN PLAN
富山市エコタウン
 URL: <http://www.toyama-ecotown.jp>

環境と調和するまちづくり計画

富山市環境部環境政策課

〒930-8510 富山県富山市新桜町 7-38 TEL 076-443-2053

古紙配合率 100%再生紙を利用しています。



2007年10月改訂

TOYAMA CITY ECO TOWN PLAN

富山市エコタウン

環境と調和するまちづくり計画

人	と	環	境	に、					
や	さ	し	い	都	市				
と	や	ま	を	目	指	し	て。		
今、	私	た	ち	が	出	来	る	こ	と。



富山市

ゼロ・エミッション構想を推進し、循環型のまちづくりを推進します。

エコタウン事業とは

ある産業から出るすべての廃棄物を、新たに他の分野の原料として活用し、あらゆる廃棄物をゼロにすることを旨とする『ゼロ・エミッション構想』を基軸に、地域の振興を図りながら、環境と調和したまちづくりを推進する事業です。

エコタウン制度は、経済産業省と環境省とにより平成9年度に創設されました。富山市はエコタウンプラン（環境と調和したまちづくり計画）を策定し、平成14年5月に、全国で16番目、北陸では初めて承認されました。富山市では、このエコタウンプランに基づき、地域の独自性をふまえた廃棄物の発生抑制・リサイクルの推進により、既存の枠にとらわれない、先進的な環境調和型まちづくりを行っています。（図16）

富山市が進めるエコタウン事業

既存の北部工業地帯にある工場跡地、約18haを『エコタウン産業団地』として、資源循環拠点に位置づけています。このエコタウン産業団地に、リサイクル施設を集約するとともに、エネルギー利用も含め団地内のゼロ・エミッション化を進めています。

第一期事業として、平成15年度には、ハイブリッド型廃プラスチックリサイクル施設、木質系廃棄物リサイクル施設、生ごみ及び剪定枝のリサイクル施設、自動車リサイクル施設の4施設が操業を開始しています。このことにより、マテリアルリサイクルを優先した地域内での資源循環が前進いたしました。

また、第二期事業として、平成17年度には廃合成ゴムリサイクル施設、平成18年度には、難処理繊維及び混合廃プラスチックリサイクル施設、廃食用油リサイクル施設の3施設が操業を始め、これにより、現在、エコタウン産業団地は7施設がそろう、サーマルリサイクルも含めた資源循環を推進しているところです。

今後、新たなリサイクル施設についても、事業化に向けて取り組んでまいります。

また、富山市では、エコタウン交流推進センターを整備し、平成17年度からオープンしました。環境学習と環境活動の拠点施設として、エコタウン産業団地への見学会や啓発事業などを行っています。

エコタウン事業基本方針

地域内循環を優先した資源循環施設の拠点整備を図り“人と環境にやさしい都市とやま”を実現します。

1. 地域内での循環を優先した取り組みの推進

富山地区には、プラスチック加工業や石油関連企業、アルミ製造業などの地元素材産業が多く立地し、これらの産業の原料として再生品の需要が多く見込めます。また、主要産業の1つである農業と関連させた資源循環の取り組みも可能となります。さらに、寒冷で多湿という気候的な特徴から、暖房用や調湿材などとして再生品（木炭）の需要も多く見込めます。

このため、富山市エコタウンにおいては、地元素材産業や農業、ハウスメーカーなどを中心に再生品の利用先を確保し、回収した資源が確実に再生品として地域内で循環利用されるよう、地域内で資源循環が行なわれるようリサイクル施設の整備を推進していきます。また、このような地域内循環を形成するために、公共部門から率先してグリーン調達を推進し、民間事業者などに拡大するなどの支援を行なっていきます。

2. 市民の活動を活かした、人と環境にやさしい都市とやまの実現

富山市は、その他プラスチック容器包装・その他紙製容器包装などの分別回収を、他都市に先駆けて取り組んできました。特に、複合素材をのぞく、その他紙製容器包装を分別回収し、地域内で紙原料とする取り組みは、「富山方式」として高く評価されています。

このため、富山市エコタウン事業では、市民の活動を活かし、市民のリサイクル意識をさらに高めるとともに、地域ぐるみの減量化・資源化活動の推進や再生品の利用促進のほか、ごみ減量・再利用に係わる普及啓発などを推進し、「人と環境にやさしい都市とやま」を実現していきます。

3. 素材の段階的再利用と廃棄物エネルギーの有効活用の促進

富山市エコタウン事業では、それぞれのリサイクル事業が連携することによって、素材の段階的再利用を推進していきます。

4. 事業性の考慮

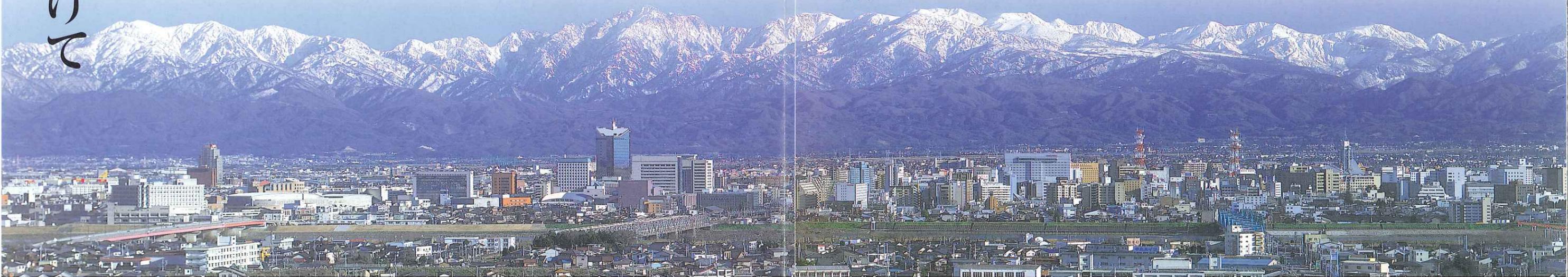
富山市エコタウン事業では、持続的に事業が成り立つことを条件に、経済動向や事業採算性について十分に考慮しながら事業を推進していきます。また、国や県、市の補助金制度や融資制度などを有効に活用するとともに、市民・事業者・行政が連携した取り組みを推進していきます。

5. 事業主体及び消費者との連携

分別回収した後、資源を再商品化し再利用する製品が消費されなければ、資源循環は成り立ちません。そのため、富山市では、再商品化事業者および再生品の購入主体である消費者を育成・啓発し、相互に連携することを重視していきます。

6. 情報の公開

エコタウン事業を推進するにあたり、富山市は、環境保全の確保と市民の安心を確立するため、事業者の募集、工場の建設、運営にいたるまで、住民合意のもとに推進していきます。また、環境情報の公開を行い、事業の安全性と信頼性の確保を図ります。



エコタウン産業団地

エコタウン交流推進センター

TEL : 076-438-2600 FAX : 076-438-3210
URL : <http://www.toyama-ecotown.jp>

市民、事業者、行政が一体となって目指す「循環型のまちづくり」を推進し、環境・ゴミ問題に関する学習活動の拠点施設です。

主な施設として、見学者説明室、学習室、情報・資料室、常設展示室、企画展示室等を整備しています。

開館日は、月曜日から土曜日の午前9時から午後5時まで、利用料は無料です。

エコタウン各企業の見学会を火曜日から金曜日に行っています。

学習室、企画展示室を貸し出ししています。

エコタウン学園を月1回ほど開催しています。



ハイブリッド型廃プラスチックリサイクル施設

株式会社プリテック

TEL : 076-426-1088 URL : <http://www.prtec.co.jp>

容器包装リサイクル法により、分別回収されたプラスチックをプラスチック原材料と燃料油にリサイクルします。「材料（マテリアル）リサイクル」と「油化」という、異なる2つの技法をあわせ持つ、全国初のハイブリッド（複合）型プラスチックリサイクル施設では、それぞれの特色を活かすことで廃棄物を削減し、リサイクル率の向上と再生品の高品質化を実現しました。

再生したプラスチック原材料や燃料油は、プラスチック成型メーカーをはじめとする企業等で使用されることで再び地域に還ります。

プラスチック資源の有効利用と地域内循環を目指し、富山のリサイクル拠点として活動していきます。

初年度/創設



木質系廃棄物リサイクル施設

アイオーティカーボン株式会社

TEL : 076-426-1233 URL : <http://www.iotc.co.jp>

建設リサイクル法により、分別解体された家屋等の木質系廃棄物を炭化処理することにより、再資源化・製品化を行なって社会に還元することを目指し、各種用途の木炭および木炭ボードの製造を行います。

家屋解体材、建築廃材、伐採樹木、木製品産業などから排出される廃木材、工場等から出される廃木質パレット、ダム流木などを受け入れます。

排出者となる家屋解体業者やゼネコンやハウスメーカーなどと、また、再生品の利用先としては建材・水質浄化剤・土壌改良材などの利用事業者と連携を図っていきます。

木炭/木炭ボード(販売)



生ごみ及び剪定枝のリサイクル施設

富山グリーンフードリサイクル株式会社

TEL : 076-426-0788 URL : <http://www.tgfr.net/>

ホテル、スーパーや食品工場から発生する食品廃棄物をバイオガス化技術でメタン醗酵させ、発生したバイオガスにより発電して電気エネルギーとして利用します。また、メタン醗酵の過程で生じる醗酵廃液を剪定枝などの堆肥化に有効利用するとともに、バイオガスを循環拠点で、堆肥を地元の農業法人や造園業界などで有効利用することによって、これまで事業性が見出せなかった双方のリサイクルが事業として成立するという、有機性廃棄物の地域ゼロエミッションモデルとなります。また、食品リサイクル法に対応したバイオガス化施設導入のモデルケースとして、全国への波及効果が期待できます。



自動車リサイクル施設

日本オートリサイクル株式会社

TEL : 076-438-0100 URL : <http://www.nar-toyama.co.jp>

使用済自動車の大規模一貫処理と環境保全の両立を図り、場外排出の廃棄物を最小限にするための事前選別を徹底して行なっております。マルチ解体機の使用によりプラスチック類や非鉄類といった資源を効率よく回収し、シュレッダーレス化及びリサイクル率の向上を進めると同時にリユース部品の回収も行ない、中古部品としての販売も手がけます。



難処理繊維及び混合廃プラスチックリサイクル施設

株式会社エコ・マインド

TEL : 076-426-1160 URL : <http://www.eco-mind.com>

繊維廃棄物、汚れや異物の付着した廃プラスチック、混合廃プラスチックなど、従来は、リサイクル困難な廃棄物を主原料として、新たな機器開発、既存設備の改良、設備の効果的な組み合わせにより、低コストで、品質の安定した固形燃料を製造しています。これにより廃棄物の地域内循環の向上を図るとともに、石炭から非化石燃料への転換を促進するなど、廃棄物の減量と温暖化防止に貢献します。

非化石燃料



廃食用油リサイクル施設

富山 BDF 株式会社

TEL : 076-426-1313

スーパー、食品工場、給食センターなどから排出される廃食用油を原料として、メチルエステル化反応により、バイオディーゼル燃料を製造しています。これにより、化石燃料から非化石燃料への燃料転換を推進し、二酸化炭素排出量の削減を図るとともに、廃棄物の減量も推進します。

このバイオディーゼル燃料は、市の清掃車や運送事業の車輛などに軽油代替燃料として供給されます。



廃合成ゴムリサイクル施設

廃タイヤや廃ベルトコンベアなどの廃合成ゴムをゴムチップ処理にすることにより、カラーゴムチップや燃料用ゴムチップにリサイクルします。

マテリアルリサイクルとして、ゴムチップ、カラーゴムチップ、ゴムマット等を製造し、ゴムの弾力やカラーを活かしたユニバーサルデザイン化やバリアフリー化を支援します。

また、サーマルリサイクルとして燃料用ゴムチップの製造も行い廃棄物ゼロを目指します。

此後、毎月

1-120.秋廃業



今後、事業化に向けて検討することになっている事業

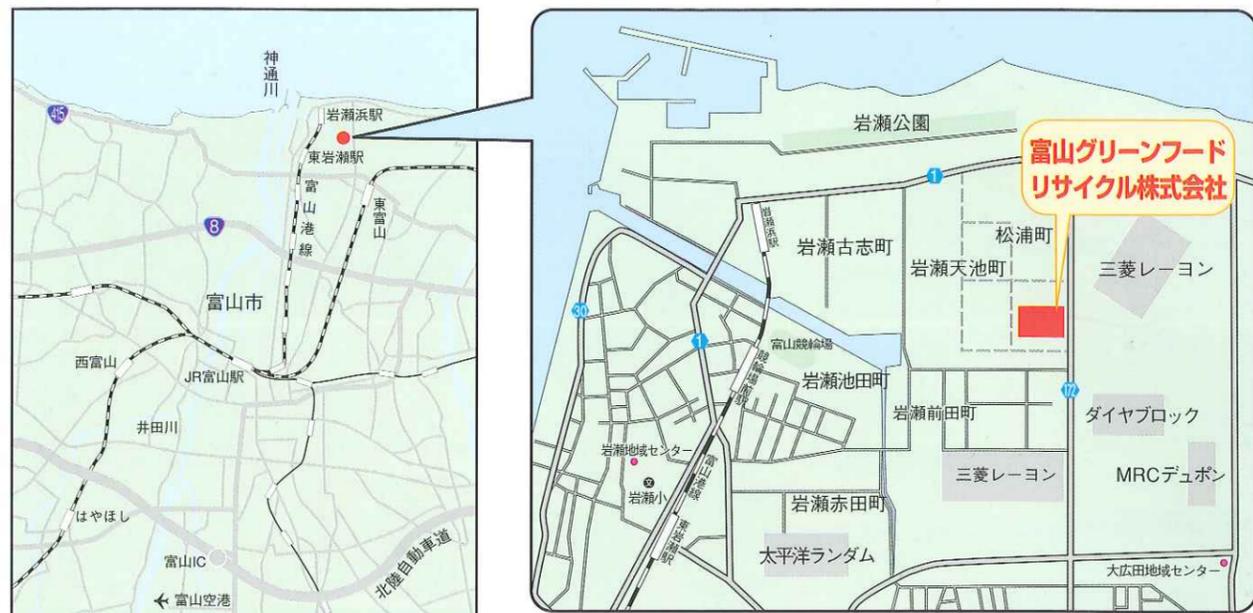
●廃棄物エネルギーセンター事業

●バイオマスプランテーション事業

●発泡スチロールリサイクル事業

施設案内図・問合せ先

■ご案内図



■県外からの交通アクセス

■飛行機・JRでお越しの場合		
東京	飛行機(羽田空港) 富山空港 約1時間 上越新幹線・ほくほく線・北陸本線(特急はくたか) 約3時間	タクシー 約40分
大阪	北陸本線等(特急サンダーバード) 富山駅 約3時間5分	タクシー 約15分
名古屋	北陸本線(特急しらさぎ) 富山駅 約3時間24分	タクシー 約15分
札幌	飛行機(千歳空港) 富山空港 約1時間25分	タクシー 約40分
福岡	飛行機(福岡空港) 富山空港 約1時間20分	タクシー 約40分

■車でお越しの場合		
東京	関越・北陸自動車道 約5時間30分	富山.C (富山市街地方面出口) 車 約30分
大阪	名神高速・北陸自動車道 約4時間30分	
名古屋	名神高速・北陸自動車道 約3時間50分	

事業主体 **富山グリーンフードリサイクル株式会社**
 〒931-8406 富山県富山市海岸通字松浦町2番12
 TEL(076)-426-0788 FAX(076)-438-8171

出資会社

- | | | |
|----------|-----------|------------|
| 石崎産業株式会社 | 鹿島建設株式会社 | クリーン産業株式会社 |
| 富山蒲鉾株式会社 | 富山造園業協同組合 | 富山冷蔵株式会社 |
| 日幸海産株式会社 | 日本海建興株式会社 | 株式会社日本製鋼所 |
| 株式会社宝来 | 株式会社樹田酒造店 | 株式会社 源 |

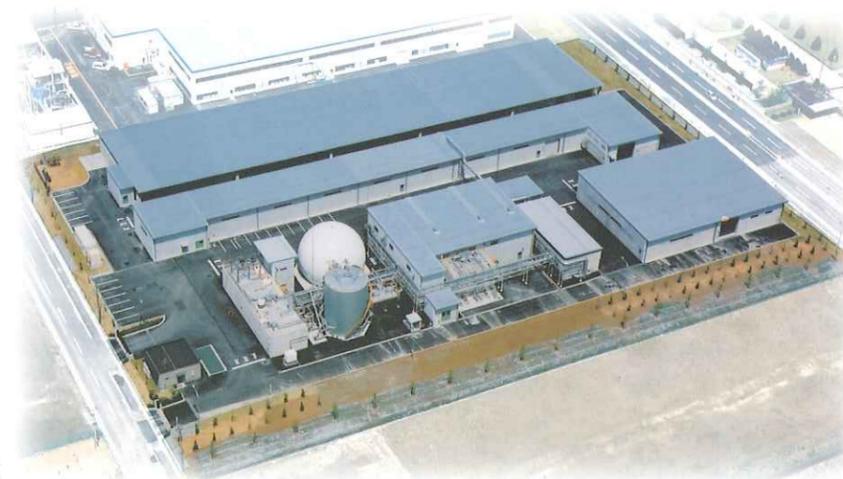
(50音順)

技術に関するお問い合わせ先
鹿島建設株式会社 環境本部 有機性廃棄物資源化グループ
 〒163-1029 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー29F
 TEL(03)-5321-7327 FAX(03)-5321-7330



「地球のみんなにやさしいね」

富山食品廃棄物リサイクル施設



富山グリーンフードリサイクル株式会社

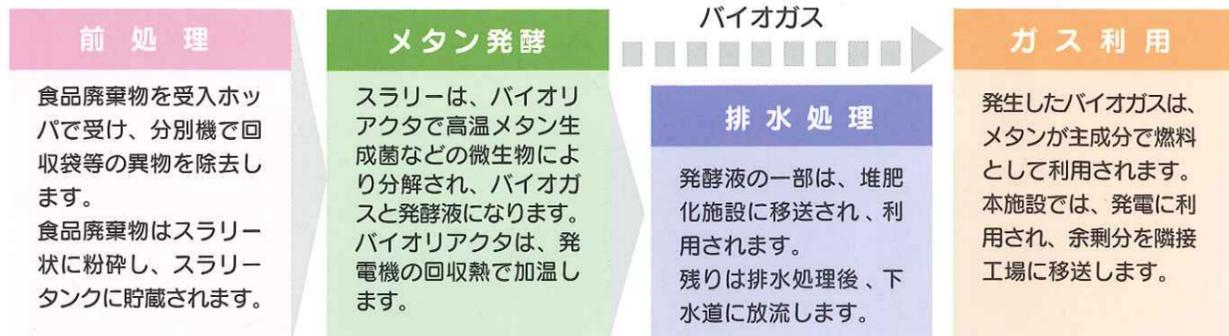
本事業は生ごみや有機性廃棄物をバイオガス化技術によりメタンガスを発生させ、そのエネルギーを利用して剪定枝等を良質な堆肥(土壌改良材)とするリサイクル事業です。

この事業は食品廃棄物等のリサイクルを行い、焼却処理並びに埋立て処分されるごみの減量、地球温室効果ガスの削減への寄与、良質な堆肥(土壌改良材)を緑農地等へ還元する資源循環型社会の構築により富山地域の環境負荷軽減に貢献することを目的としています。

事業者名	富山グリーンフードリサイクル株式会社
補助事業	農林水産省 食品リサイクル施設先進モデル実証事業 富山市 富山市エコタウン施設整備事業
主な事業内容	食品系一般廃棄物の処理受託 食品系産業廃棄物の中間処理受託 剪定枝、刈草等廃棄物処理受託 堆肥(土壌改良材)製造並びに販売 ガス供給事業

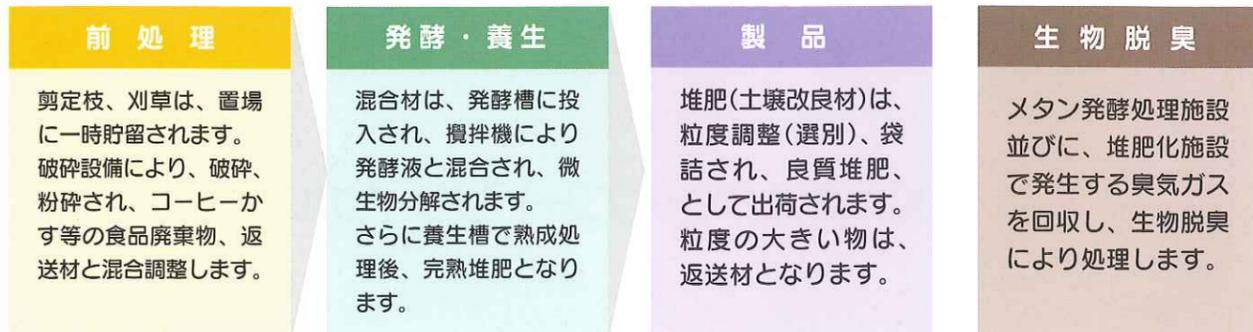
メタン発酵処理施設 (バイオガス化)

メタクレス方式 (固定床式高温メタン発酵)



堆肥化施設

スクープ式攪拌機利用による高速発酵方式



敷地面積 約17,100m² 建築面積 約6,000m²

処理能力 [メタン発酵施設]
事業系ごみ・食品残渣・有機汚泥等 24.4t/日
[堆肥化処理施設]
剪定枝・刈草等 ……3~20t/日
コーヒー・茶かす ……2t/日

施設・設備 [メタン発酵施設]
前処理設備 : 1) 受入ホッパ/移送コンベヤ
2) 分別機
3) スラリータンク
バイオリアクタ : 有効容量 : 400m³ (直径8.2m×高さ11m)
(発酵槽) 固定床式高温メタン発酵 (55℃) 発酵期間 10日間
排水処理 : 浸漬膜活性汚泥法
ガスホルダ : 1,000m³ (直径14m×高さ11m)
ガス利用システム : マイクロガスタービン発電機30kw×3 コージェネ型
[堆肥化処理施設]
前処理設備 : 1) ホッパー貯留自動排出 2) 破碎機
発酵処理設備 : スクープ式攪拌機 (1台) 発酵槽 (1レーン)
養生槽 : ショベルローダー切返
袋詰製品化設備 : 1) 粒度選別装置 2) 袋詰装置 (全自動)
[環境保全施設]
脱臭装置 : 微生物脱臭
処理水 : 下水道放流

富山食品廃棄物、剪定枝等リサイクル施設の主な設備



▲受入ホッパ



▲バイオリアクタ



▲発電機



▲発酵槽



▲破碎設備



▲袋詰装置



▲生物脱臭

システム構成

